

卷頭特集 データから見える子どもたちの近未来

子どもたちと人口減少社会

16

- 図1 過疎地域と全国の医師数の比較(小児科医・産婦人科医)
(平成18年)
- 図2 過疎地域と全国の義務教育状況の比較(学校数・生徒数)

家族・家庭のゆらぎと、これから

18

- 図1 世帯構造別推計世帯数の推移
- 図2 出生数及び合計特殊出生率の年次推移
- 図3 変化した子育て環境
- 図4 児童相談所における虐待相談対応件数の推移
- 表1 男女別、年齢階級別の雇用形態別割合
(2002・2008年)
- 図5 相対的貧困率の年次推移

子どもの生活リズムと発育・発達 —睡眠に焦点をあてて—

20

- 図1 子どもの起床時間(平成16~18年度)
- 図2 子どもの就寝時間(平成16~18年度)
- 図3 就寝時間別「朝食をとらないことがある」子の割合
(平成15年度)
- 図4 前夜の就寝時刻別にみた歩数(平成19年)
- 図5 歩数別にみた当日の就寝時刻(平成19年)
- 図6 3歳時の睡眠時間と10年後の肥満との関係
- 図7 就床・起床時刻と問題行動の関係(平成17年)

子どもたちの健やかな育ちを支える 保健・医療システムの進化

22

- 図1 未熟児の出生割合の推移
- 図2 複産児の出生割合の推移
- 図3 性別にみた出生時平均体重及び2,500g未満出生数
割合の年次推移 一昭和50~平成19年-
- 図4 体外受精・胚移植等を実施する登録施設数及び
出生児数の推移
- 図5 周産期死亡数及び周産期死亡率の年次推移
一昭和54~平成19年-
- 図6 母親の年齢階級別周産期死亡率の推移
- 図7 都道府県別周産期死亡率(出産1,000対)
- 図8 都道府県別周産期医療センター施設数(平成21年)

食を通じた親子の関わり

24

- 図1 子どもの朝食習慣と就寝時刻(平成17年)
- 図2 普段の食事で心配なこと(平成16年)
- 図3 母親が朝食を食べない理由(平成18年)
- 図4 子どもが朝食を食べない理由(平成18年)
- 図5 朝食に菓子を摂取する者(平成19年)
- 図6 朝食を菓子だけですませる者(平成19年)
- 図7 朝食を子どもだけで食べる割合の推移
- 図8 子ども(小中学生)の食習慣についての改善意欲
(平成17年)
- 図9 食習慣についての改善意欲(15歳以上)(平成17年)

児童虐待の現状とこれからの課題

26

- 図1 児童相談所における虐待の内容別相談件数の推移
- 図2 児童虐待で死亡した子どもの年齢
(平成15年7月~20年3月)
- 図3 都道府県別「生後4カ月までの全戸訪問事業」実施率
(平成20年度)
- 図4 児童相談所数、児童福祉司数、児童心理司数の推移

公立学校における学習指導の充実と 子どもの学力向上

28

- 表1 学校質問紙に回答した学校数
- 図1 児童・生徒の勉強に対する熱意
- 図2 国語および算数・数学の指導方法
- 図3 学校全体としての指導方法
- 図4 家庭学習に関する家庭との連携

子どもの成長・発達を促す、 異年齢交流のひろがり

30

- 図1 異校園間での連携・交流イメージ
- 図2 幼稚園と小学校の交流活動の状況
- 表1 教育課程の特例を活用した小中連携の取り組みの概要

子どもとメディア環境

32

- 図1 世の中の出来事を知る情報源
- 図2 小・中・高校生の新聞との関わり
- 図3 登校日にテレビを見る時間別にみた子どもの就寝時間
- 図4 携帯電話の利用目的

子どもの携帯電話等の利用状況と 問題点、対策

34

- 図1 携帯電話の所有状況と所有台数・アドレス数(平成20年)
- 図2 携帯電話を持った理由(平成20年)
- 図3 保護者が子どもに携帯電話を持たせた理由、
持たせない理由(平成20年)
- 図4 携帯電話のトラブルの経験(平成20年)
- 図5 ネットで知り合った見知らぬ相手との行動(平成20年)
- 図6 携帯電話からインターネットを利用して
福祉犯罪の被害を受けた子どもの数(平成20年)
- 表1 フィルタリングの有無別・携帯電話の利用による
トラブル(平成20年)

若者の家族形成・子育てに対する 意識と対策

36

- 図1 年齢別未婚率の年次推移
- 図2 生涯未婚率の年次推移
- 図3 初婚過程の平均像の変化
- 図4 平均初婚年齢と母親の平均出生時年齢の年次推移
- 図5 年齢別貧困率
- 図6 年齢別ワーキングプア率
- 図7 子どもの貧困率(2000年)